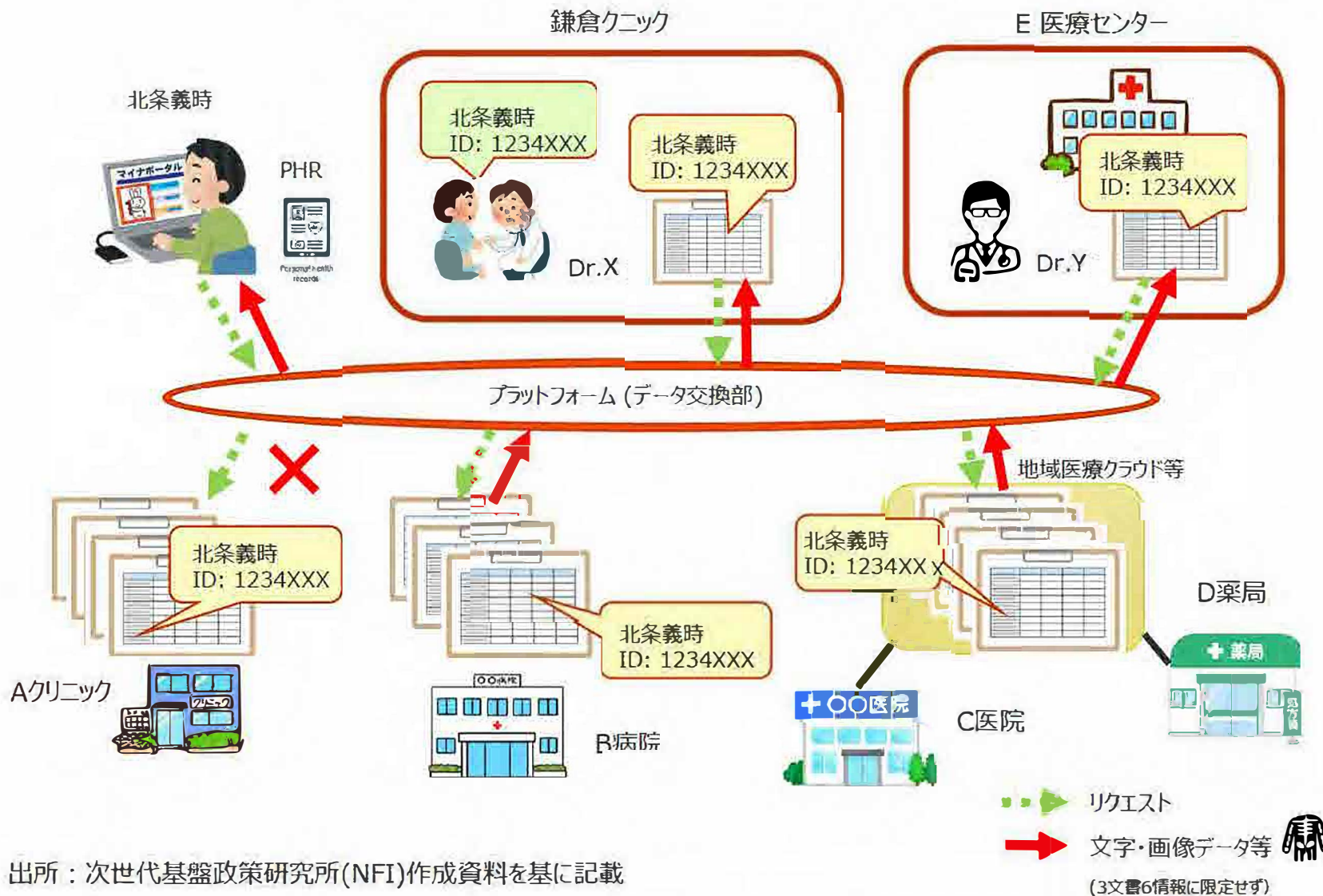


システム利用イメージ（自身の治療等利用ケース）

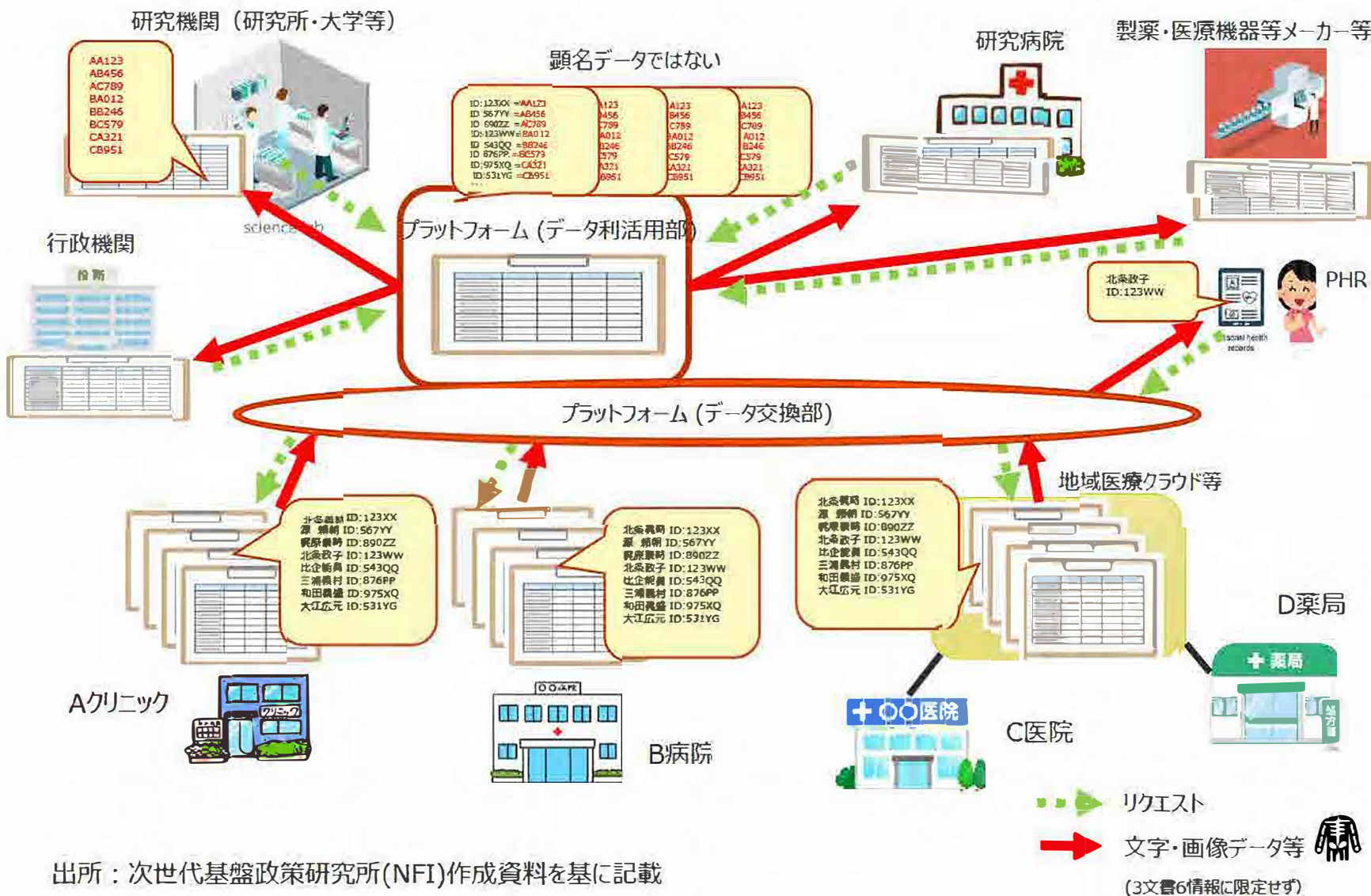


【利用イメージ】

1. 北条さんは、自分の医療データをマイナポータル等を使って知ることができる。
2. Aクリニックの医療データを医師にも知られたくない北条さんは、Aクリニックにある自分の情報を選んで「封印」できる。
3. 北条さんが、鎌倉クリニックを受診。
4. 鎌倉クリニックのDr.Xは、北条さんのカルテを作成すると同時に、Dr.Xはプラットフォーム(PF)を通して、北条さんの他医療機関のカルテ、薬局での記録や、PHRにアクセスし、治療歴等を確認。
5. Dr.Xが診察し、検査結果等を確認して、カルテに入力。
6. 専門外の疾病の可能性があり、Dr.Xは、E医療センター専門医のDr.Yとカルテ等を共有し相談する。
7. Dr.Xの依頼を受けたDr.Yは、PFを通して、連結ID:1234XXXさんの医療データにアクセスして評価しDr.Xに伝える。
8. Dr.Xは、Dr.Yの評価に基づき、診断を確定、治療方針を決定する。

出所：次世代基盤政策研究所(NFI)作成資料を基に記載

システム利用イメージ（公益・研究開発利用ケース）



【利用イメージ】

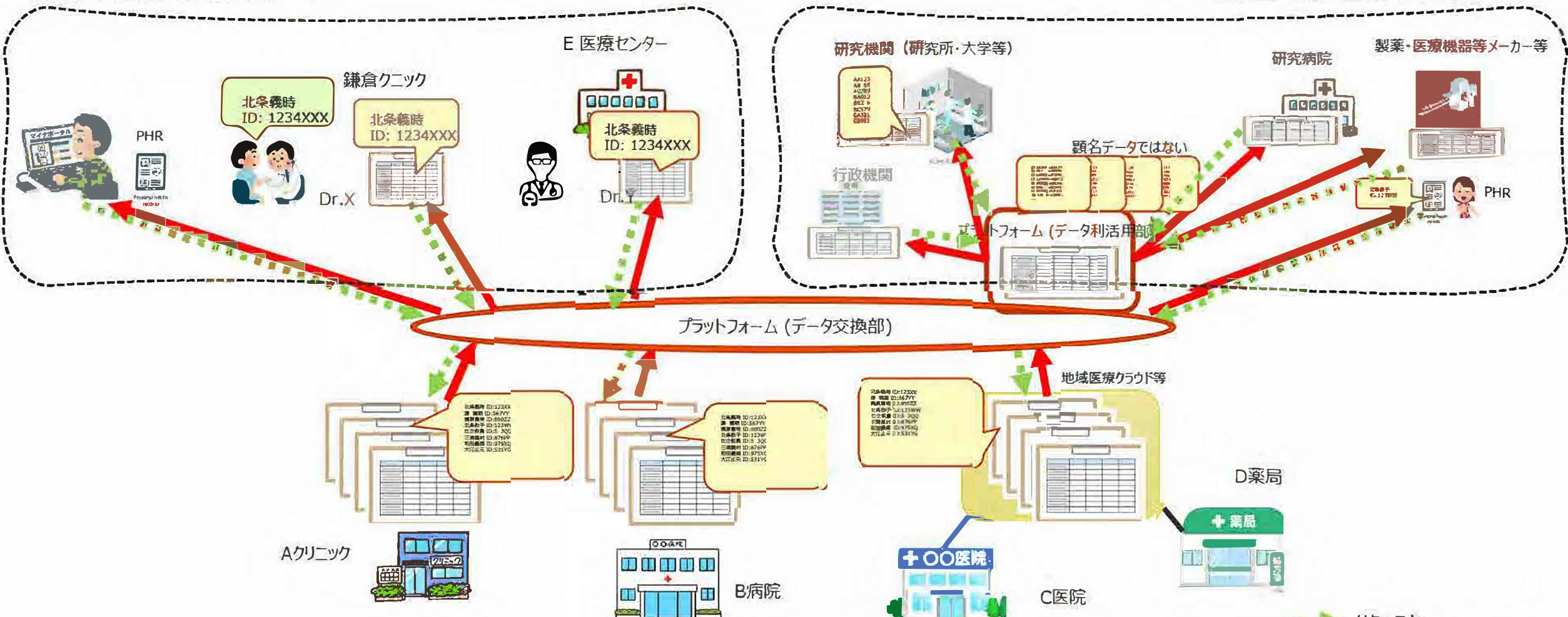
1. 行政機関、研究機関（研究所・大学等）、製薬メーカー等から、一定の条件を満たすデータセット要求。医療機関、薬局等に保管されている医療データから、一定のフィルターで取り出したデータをPFを通して「データ管理サービス」が収集。
2. 医療等IDを暗号化して分析用符号に置換しデータセットを作成する。ただし、対応表は厳重に管理して保管。（データセットの加工形態は、利用目的、データ利用者の性質に基づいて決められる。）
3. 作成されたデータセットを要望のあった行政機関、研究所、製薬メーカー等へ提供。
4. さらに追跡したデータを必要とする場合には、データ管理サービスを通して、同様に提供を受けられる。
5. PHRは、PHR運営者が、本人の「同意」に基づいて、PFを介して本人の医療データと本人が記録したデータを結合しサービス提供できる。

出所：次世代基盤政策研究所(NFI)作成資料を基に記載

システム利用イメージ (全体像)

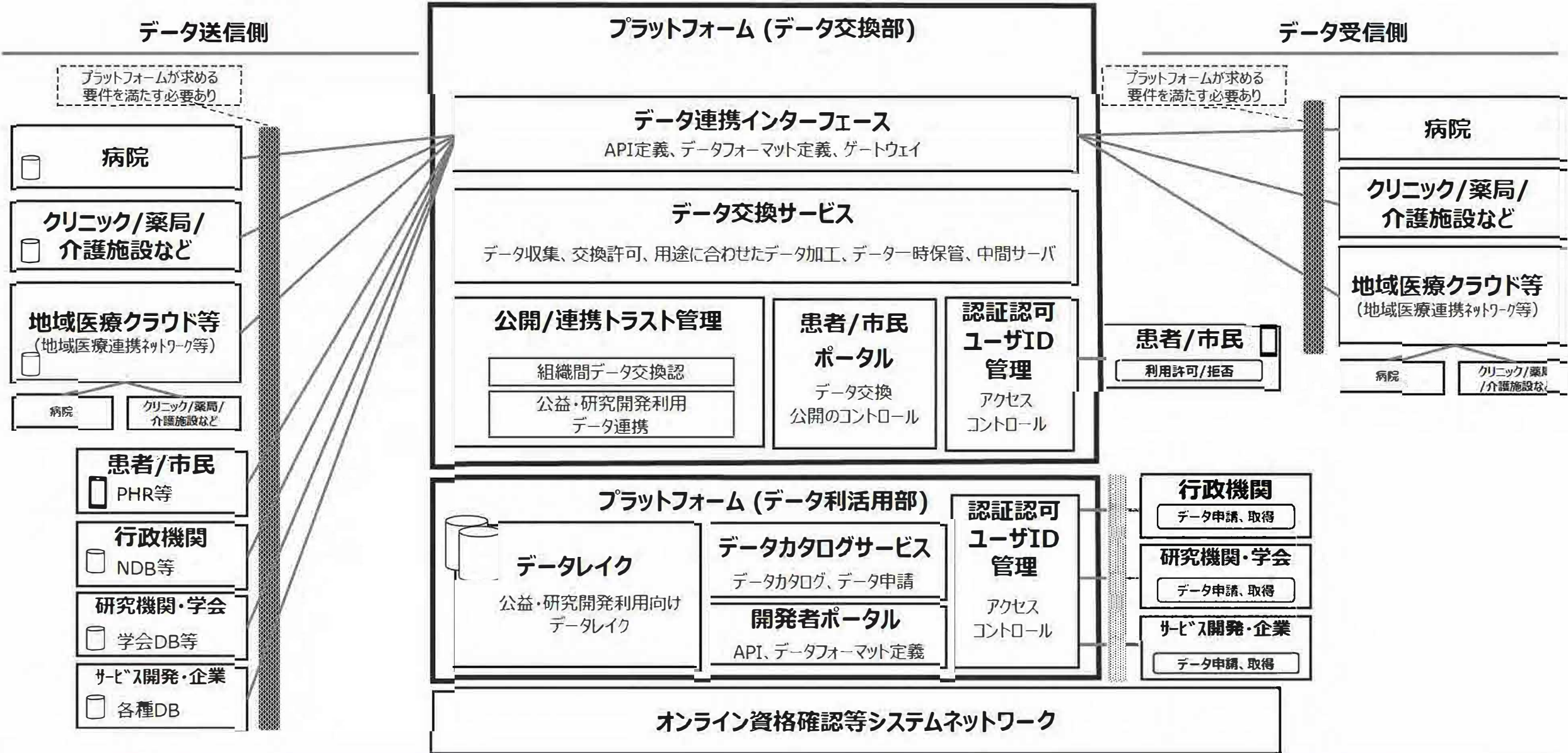
自身の治療等利用ケース

公益・研究開発利用ケース



出所：次世代基盤政策研究所(NFI)作成資料を基に記載

プラットフォーム概念図



ケース別プラットフォーム概念図 (1/2)



ケース別プラットフォーム概念図 (2/2)

